

# せせらぎ



令和元年 9月 6日発行 No. 4

2学期が始まりました。今学期も一人1授業の様子をお知らせしていきたいと思います。今回は、6年桜2組の授業の様子です。1学期に俳句の学習を行い、俳句の決まりや特徴について学習しました。そして2学期は、短歌です。初めての短歌でしたが、短歌の決まりや特徴などについて調べたり、短歌づくりにも挑戦したりしました。様子を紹介します。

## 校内研究授業 9/2(月)

### 6年桜2組 国語「言葉をえらんで、短歌を作ろう たのしみは」

指導者

ねらい「短歌のもつ表現の効果を確かめて、短歌を書くことができる。」

つかむ

1. 「めあて」をもと
2. 「見通し」をもと



俳句を五七五に分け、復習しています。



めあてを考えています。

追究する・深める

3. 自分で解いてみよう
4. みんなで話し合おう

読み方のリズムは？



五七五七七

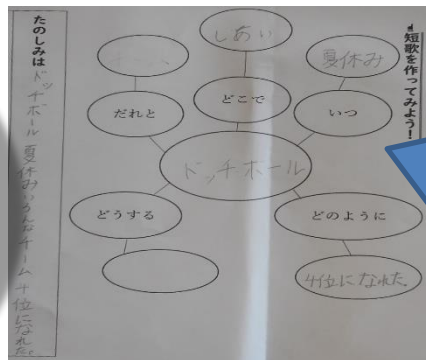
めあて  
短歌はどのようにできているのだろうか？



短歌に合う場面は、どちらの絵が当てはまるか考えました。

まとめる

5. 「まとめ」をしよう
6. 問題を解いてみよう
7. 「ふりかえり」をしよう



ウェビングマップを使い短歌を作りました。  
「たのしみは ドッチボール 夏休み いろいろなチーム 4位になれた」  
素晴らしい短歌ができました。

短歌は、五七五七七でできていることを知り、夏休みの楽しかった思い出を五七五七七で上手に短歌を書くことができました。

授業研究会では、「五七五七七のリズムを数えながらしっかり区切ることができていた。1時間集中して取り組むことができていた。」という意見が出されました。

